

## 平成19年度財務諸表等の公表について

鹿児島大学は、平成19年度(第4期)の財務諸表及び決算報告書を文部科学大臣に提出し、平成20年9月10日に承認を受けましたので公表いたします。

この財務諸表は、企業会計原則を基本として、教育研究という大学の業務内容の特性等に配慮した「国立大学法人会計基準」及びその「実務指針」等に従い作成しております。

なお、財務諸表中の「利益の処分に関する書類(案)」については、文部科学大臣の承認をまだ受けておりませんので(案)のまま掲載しております。

本学の財政状況は、貸借対照表にありますように、平成19年度における資産合計が1千91億円、負債合計が320億円及び純資産合計が771億円となっております。

本学の運営状況は、損益計算書にありますように、経常費用が409億円、経常収益が416億円となっており、臨時損失、臨時利益及び目的積立金取崩額を含めた当期総利益は、約6.5億円となっております。

当期総利益は、別途文部科学大臣の承認を受けた後、教育研究環境整備積立金として、平成20年度以降の教育研究の発展、環境整備等に使用することが可能となります。

本学を取り巻く財務状況は、運営費交付金が毎年効率化係数1%(年1.3億円)の削減が課されるなど、非常に厳しい状況が続いています。

本学は、業務の効率化による経費・人件費の節減、積極的な外部資金の獲得、附属病院収入の増収等を図るなど、徹底した業務運営の改善に取り組むとともに、教育・研究・診療活動、社会貢献活動等について、更なる充実・向上に努めて参ります。

今後ともご支援・ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

本学の財務状況をご理解いただくために、なるべく平易な表現を用いて「平成19年度 財務諸表の概説」を作成しましたので、併せてご参照下さい。

国立大学法人鹿児島大学

理事(財務・環境担当) 渡部 賢